

あ 翔

あめつちほしそらやまかはみねたに
くもきりむろこけひといぬうへすゑ
アメツチホシソラヤマカハミネタニ
クモキリムロコケヒトイヌウヘスエ
天地星空山川峰谷雲霧室苔人犬上末
安以宇衣於加幾久計己左之寸世曾太

○ ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ0123456789,.,!?*

18Q / 28H

或曇った冬の日暮である。私は横須賀発上り二等客車の隅に腰を下して、ぼんやり発車の笛を待っていた。とうに電燈のついた客車の中には、珍らしく私の外に一人も乗客はいなかった。外を覗くと、うす暗いプラットフォームにも、今日は珍しく見送りの人影さえ跡を絶って、唯、

60Q / 72H

或曇った 冬の日暮である。

24Q / 36H

或曇った冬の日暮である。私は横須賀発上り二等客車の隅に腰を下して、ぼんやり発車の笛を待っていた。とうに電燈のついた客車の中には、珍らしく私の外に一人も乗

或曇った冬の日暮である。私は横須賀発上り二等客車の隅に腰を下して、ぼんやり発車の笛を待っていた。とうに電燈のついた客車の中には、珍らしく私の

24Q / 36H

私は横須賀発上り二等客車の隅に腰を下して、

31Q / 36H

或曇った冬の日暮である。

56Q